

新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻・口腔生命福祉学専攻共催

にいがた摂食嚥下障害サポート研究会

新潟県摂食嚥下機能評価コンソーシアム講演会 開催報告

一般社団法人新潟県歯科医師会 後援

一般社団法人新潟県歯科衛生士会 後援

一般社団法人新潟県言語聴覚士会 後援

テーマ 「摂食嚥下障害への取り組み ～これまでとこれから～」
日時 平成30年12月8日（土） 午前9時00分～午後5時10分
場所 新潟県歯科医師会館
参加者数 211名（会員86名，非会員119名，学生6名）
参加企業 8社

タイムスケジュール

8:55 開会挨拶

— 第1部 — 新潟県摂食嚥下機能評価コンソーシアム講演会

9:00 講演「米および米加工食品開発に向けて」

井上 誠先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

9:30 症例報告

小林秀人先生

水野吉広先生

— 第2部 — にいがた摂食嚥下サポート研究会

10:00 講演「栄養管理の注意点：侵襲時から終末期まで」

小山 諭先生（新潟大学大学院保健学研究科）

11:05 講演「新潟県における外科的治療の現状と課題」

馬場洋徳先生（新潟大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室）

12:10 ランチョンセミナー

13:10 講演「嚥下リハビリテーションにおける運動訓練のコツ」

福岡達之先生（広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻）

14:15 にいがた摂食嚥下サポート研究会・食の支援ステーションの紹介

15:00 講演「摂食嚥下障害の管理とリハビリテーション」

藤島一郎先生（浜松市リハビリテーション病院）

16:30 総合討論

17:00 閉会挨拶

概要

本講演会は、新潟県摂食嚥下機能評価コンソーシアムとの共同開催により、「摂食嚥下障害への取り組み ～これまでとこれから～」をテーマとして、5名の講師による講演、2名の講師による症例報告、ランチョンセミナーが行われた。

第1部前半では、新潟県摂食嚥下機能評価コンソーシアム講演会として、新潟大学井上誠先生が「米および米加工食品開発に向けて」と題した講演を行った。新市場創出・米加工技術等開発事業のもとに行われた米加工食品である粥食品の生理機能評価と官能評価の基礎データが供覧され、さらに介護施設におけるデータ採取の後に、現存する粥食品の見直しと付加価値化を追求することが報告された。続く症例報告では、摂食嚥下治療登録医研修に参加している歯科医師の小林秀人先生、水野吉広先生による大学病院における症例ならびに自験例が紹介され、地域の摂食嚥下障害患者のサポートにおける医科歯科連携や在り方等が議論された。

サポート研究会の講演会となった第2部の最初の講演では、新潟大学医学部の小山諭先生が「栄養管理の注意点：侵襲時から終末期まで」と題して、急性期を中心とした患者の医療管理の中でいかに栄養管理が重要であるかという点について、多くのエビデンスを提供いただき、食べることのみではなく栄養管理を基盤とした支援の重要性が強調された。続いて新潟大学医学部耳鼻科の馬場洋徳先生が「新潟県における外科的治療の現状と課題」と題して、耳鼻科の立場から医科歯科連携のもとに摂食嚥下障害の臨床における手術の適用やその効果について、多くの症例をご紹介いただいた。他職種連携の中でもキーパーソンとなるのは耳鼻科であることを改めて目の当たりにした講演であった。

ランチョンセミナー後、休憩時間には、企業展示会場にて活発な情報交換が行われた。

午後からは県外の講師を招いての講演が行われた。広島国際大学の福岡達之先生は、「嚥下リハビリテーションにおける運動訓練のコツ」と題して、現在知られている多くの訓練法の基本とコツ、またエビデンスをもとにした訓練の実施について、生理学的な理解のもとに行うことがいかに大切であるかということが強調された。にいがた摂食嚥下障害サポート研究会の紹介と休憩をはさみ、最後に浜松市リハビリテーション病院の藤島一郎先生の「摂食嚥下障害の管理とリハビリテーション」と題した講演が行われた。藤島先生の講演はまさにしゃべる教科書ともいえる内容であった。栄養とサルコペニア、口腔ケアの重要性、疾患別摂食嚥下障害の特徴、リハビリテーションや訓練の考え方について、さらには近年注目されている摂食嚥下障害における倫理の問題に至るまでを詳細に解説された。最後にニューロリハビリテーションとしてのtDCSやrTMSなどが紹介された。

最後に十分な総合討論を行う時間がなかったものの、以下のアンケートにあげる様々な感想や意見をいただいた。

本日の参加者合計は211名、参加者の職種内訳は、言語聴覚士67名、歯科医師43名、歯科衛生士32名、看護師19名、管理栄養士13名などであった。

参加者によるアンケート結果（有効回答数132名 回答率62.6%）

1. 参加者の性別

- ①男性 33名
- ②女性 97名
- ③無回答 2名

2. 参加者の年齢層

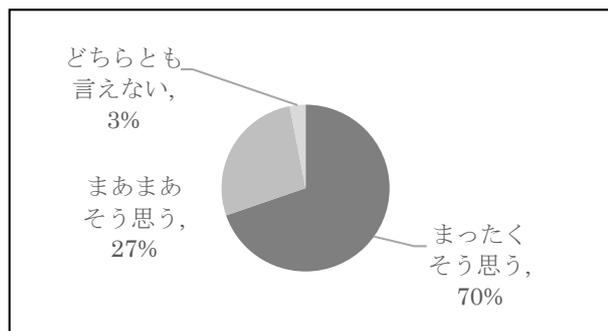
- ①10歳代 1名
- ②20歳代 26名
- ③30歳代 36名
- ④40歳代 33名
- ⑤50歳代 27名
- ⑥60歳代 8名
- ⑦70歳代 1名

3. 参加者の職業

- ①学生 5名
- ②医療関係者 120名
内訳：医師 2名，歯科医師 8名，歯科衛生士 18名，看護師 14名，言語聴覚士 51名，理学療法士 3名，作業療法士 3名，管理栄養士 11名，介護福祉士 1名，無回答 9名
- ③会社員・公務員 2名
- ④その他 2名
- ⑤無回答 3名

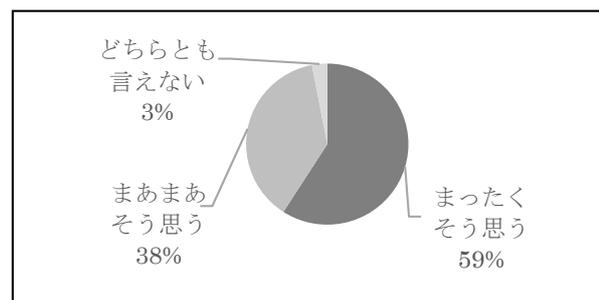
4. 今回の講演会は有意義なものでしたか

- ①まったくそう思う 92名
- ②まあまあそう思う 36名
- ③どちらとも言えない 4名
- ④あまりそう思わない 0名
- ⑤全くそう思わない 0名



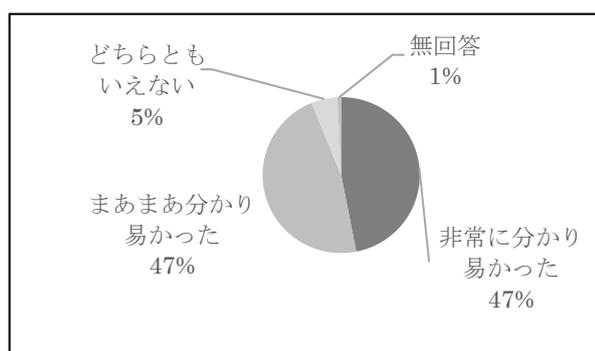
5. 今回の講演会はあなたの興味に対して適切でしたか

- ①まったくそう思う 78名
- ②まあまあそう思う 50名
- ③どちらとも言えない 4名
- ④あまりそう思わない 0名
- ⑤全くそう思わない 0名



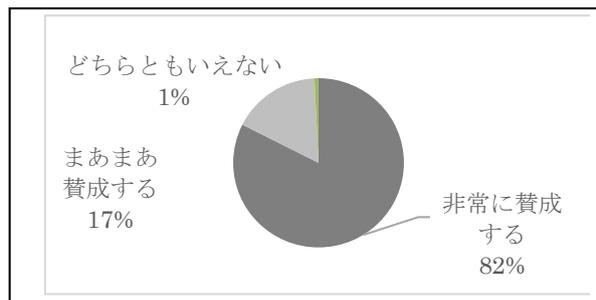
6. 講演内容の難易をどう感じましたか

- ①非常に分かり易い 61名
- ②まあまあ分かり易い 61名
- ③どちらとも言えない 7名
- ④あまり分かり易くない 2名
- ⑤全く分からない 0名
- ⑥無回答 1名



7. 今後このような主旨の講演会を開催することについては

- ①非常に賛成する 108名
- ②まあまあ賛成する 22名
- ③どちらともいえない 1名
- ④あまり賛成しない 0名
- ⑤まったく賛成しない 0名



8. その他の意見

- ・普段携われない部分のお話が聞けて良かったです。診療や予防についての業務に活かしていきたいと思っています。
- ・タイムスケジュールに簡単に今回の講演内容の案内があると良いと思います。30分の休憩は少し長いと思います（雪のため帰宅時間は早いほうが良いと思います）。
- ・多職種の意見：特に在宅に関わっている人の嚥下についての悩みや対応を聞いて、病院や地域につなぐ支援について、一緒に考えてみたい。出張検討会を検討して欲しい。
- ・第一線の方々の講演を有意義に学ばせていただきました。ハッピーターンのその後の研究をお待ちしております。
- ・いろいろな話が聞けてよかったです、サルコペニアに現在私が力をいれていたのが大変興味深かったです。あと、耳鼻科医の馬場先生の外科治療 ALS が少しでも長く食べられるとよいと思い、Dr. と相談し積極的に外科に嚥下が良くなることを説明していければと感じました。
- ・駐車場がもっとあるとよい。講演内容・展示ブース、よかったです。
- ・駐車場がある程度あるところの会場にしていきたい。
- ・看護分野の講演も検討していただければありがたいです。
- ・土曜日の講演は出席できないことがあるので、日曜祝日ありがたいです。
- ・会場の設備（トイレ、空調、駐車場）が、やや残念でした。内容はとても密度の濃い有意義なものでした。貴重な機会をありがとうございました。
- ・駐車場がもう少しあると良いと思いました。内容はとても満足でした。ありがとうございました。また機会があれば参加したいです。
- ・スライドや資料で一部見えにくいものがあるので、もう少し大きい字やはっきりとした色にしてもらえると助かります。
- ・Nsさんは、やらなければならない仕事の種類がとても多いのもわかりますが、私の職場では、Nsさんの興味・学習意識が全体になかなか上がりません。前は小山珠美先生に来ていただきましたが、Nsさんのそれらのレベルアップにつながりやすい企画があればと思います。
- ・著明な先生方のお話を聞くことができる、大変貴重な機会をありがとうございました。
- ・学生には少し難しい話をあったのですが、とても勉強になりました。
- ・このような他分野にわたる、ある程度専門性の高い話が一度に、しかも無料で聴講できる機会をいただきまして、本当にありがたいばかりです。朝早く出てきたかいがありました。
- ・貴重なお話をたくさん聞くことができ、とてもよかったです。企業展示をゆっくりみるためにも各講演会にも休憩があるとありがたかったです。

- ・貴重な講演をありがとうございました。これからの仕事に少しでも活かしていきたいと思います。
- ・ランチョンセミナーで、おいしくいただきました。ありがとうございました。
- ・有意義な講演をありがとうございました。本日いただいた内容を日々の活動に取り入れて、私自身のモチベーションのアップにしていきたいと思った。
- ・会場が寒かった。駐車場がある会場だとありがたいです。嚙下の第一人者である藤島先生の講演を聞くことができ、とてもうれしかったです。
- ・駐車場が少ないと事前にメールをいただいたので、とても助かりました。車でないといけない地域だったので。ありがとうございました。
- ・医師の参加が少ないのではないかと思います。今後、医科にもアピールしていこうと思います。
- ・とても勉強になりました。私自身の勉強不足で理解できなかった部分があり、残念。もっと沢山のことを学び、患者さんにとって最善の方法に関わるために知識と技を得られたらとあらためて感じました。
- ・症例報告の時間をもう少し増やしてほしい。
- ・管理栄養の重要性が認識されてきている中で、退院後、在宅での管理栄養が大切なのではないかと感じました。
- ・嚙下に対して幅広く、とてもためになる講演で充実した一日となりました。ありがとうございました。
- ・ゆっくりお話しされる先生方で、よく聞き取れました。長い講演だと立ちながらのお話は大変なのは？と思いました。もし、先生方が座ってお話しするのが楽なら、座ってご講演をされても良いのではないかと思います。
- ・福岡先生のお話をもっと聴きたかったです。
- ・違う専門分野の方々に話していただき、多面的な討論ができたと思います。
- ・今回のように、研究だけではなく、臨床・実践に関することを行ってほしい。
- ・とてもよいご講演が多かったと思います。ありがとうございました。来年は講演会が土曜日に開催されますが、仕事の関係で今までのように日曜日に開催してもらいたい。

会場風景



あいにくの雪模様



進行は伊藤加代子先生



第1部座長渡邊賢礼先生



演者井上誠先生



開業医発表小林秀人先生



開業医発表水野吉広先生



第2部座長辻村恭憲先生



演者馬場洋徳先生



演者小山諭先生



ランチョンセミナー



座長真柄仁先生



演者福岡達之先生



演者藤島一郎先生



ディスカッション



活発な討論がありました





活発な討論がありました



業者展示も賑わいました



演者の先生を囲んでの懇親会